

地域を
変える
力になる。

長野県小諸市で 地域おこし協力隊 (移住定住担当) を募集します。

小諸って、
それほど田舎でもなく、
素材にはとても恵まれている。
人もいい。けど、
あまり活かされてはいない。
そんなところ。



カモガワ隊員

地域おこし協力隊のリアル

小諸市地域おこし協力隊の鴨川と申します。私は2016年の4月から協力隊として小諸市で活動してきました。出身は神奈川県横須賀市です。大学卒業後は、東京で暮らしていました。東京から小諸市への移住です。協力隊としては今年度で3期目の満期の年となり、来年2019年3月で退任予定です。

私の小諸での協力隊の仕事のリアル(結論から言えばやつて良かったなということ)をここではお伝えできればと思います。私の担当業務は小諸市への移住・定住促進というものです。要するに小諸市の人口を増やす仕事ですが、実際の作業分野は多岐に渡ります。まずは空き家バンク。空き家をお持ちの方、空き家を買いたい・借りたい方、仲介をお願いする不動産会社の方、それぞれの話を聞き、その3者を上手くつないでいくのが仕事です。空き家問題の解消という面と、移住希望者に住まいを紹介する面とを同時にこなします。また、市のホームページの管理などもします。意外と市役所内での内勤が多く、普段は職員と同じようにスーツ姿で仕事をしてい

ます。空き家バンク関連の仕事がリユームが全体の50%を占めています。他には移住セミナーや移住体験ツアーなどイベントの企画や実施、移住情報の発信などがあります。移住担当の協力隊は私一人(他に観光分野で4人、獣害対策分野で2人います)ですので、チラシのデザインなども含め、これをほぼ一人でこなしていきます。東京でイベントを開催することも多く、月に一度のペースで東京に行っています(小諸は東京まで新幹線で通える距離なので日帰りで帰りますが)。

他には、移住体験施設というお試し移住できる施設の手入れや、入居者のお世話をする仕事もありますし、日常的に市役所の窓口や電話で移住や空き家の相談があります。担当業務だけでも一人ではなかなか大変ですが、これを月に17日の勤務内でこなしていきます。雇用形態は市の非常勤特別職という扱いで、勤務日は自由に選べます。市役所なのでウイークデーが中心の勤務ですが、イベントなどで土日にも仕事になることもあります。時間は定時で8時30分から17時15分までで、残業手当があるわけではないので残業は特別なことがないかぎりしません。

担当業務としてはこんな感じですが、小諸市は協力隊に副業が認められています。協力隊の待遇としては給与が16万6000円(これから諸経費が引かれます)。住居は家賃上限5万円までで、自分の好きな市内の家を選んで市が支払ってくれますが、田舎でも暮らしていくにはなかなか厳しい金額ですね(家族を持っている場合にはなおさら)。副業としては、私は東京で飲食店に長く勤めていた経験から料理のケータリングサービス(「浅間兄弟」という屋号です)の仕事で個人事業としてしています。協力隊としての勤務は月に17日ですので、それ以外の時間を使つての副業です。最初から任期後には小諸で飲食店を開業予定だったので、お試的に始めたサービスタだつたのですが、予想以上に早いペースで認知され、現在はほぼ毎週末にイベントやケータリングの依頼があります。協力隊の仕事との二足のわらじのなかなかに忙しい毎日を通っています。東京のときよりも忙しいのではないかとつくづく思います。もつとゆつくりとした田舎暮らしを想像していたのですが(笑)、私的な小諸の協力隊のリアル、実態はこんな感じ

(次のページへつづく)